

2021年6月11日
朝日生命保険相互会社

新型コロナワクチンの職域接種の実施について

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、また感染拡大により影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

朝日生命保険相互会社（代表取締役社長：木村博紀、以下「当社」）では、新型コロナワクチン接種（以下「ワクチン接種」）に関する地域負担の軽減ならびに接種の加速化に貢献するとともに、従業員のより安全・安心な労働環境を確保する観点から、政府方針に基づき、当社職域におけるワクチン接種を7月から開始すべくその準備を進めておりますのでお知らせいたします。

なお、ワクチン接種に要する医療体制（医師・看護師、接種会場等）の確保状況を鑑み、接種対象は当社四谷本社・多摩本社およびその近隣支社（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）の従業員ならびに関係会社従業員をあわせた計7,300名程度とし、希望者に順次実施していく予定です。

当社では、政府「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」ならびに、金融庁「緊急事態宣言の対象地域における金融機関の対顧客業務の継続に係る基本的な考え方」に基づき、感染症拡大防止に最大限努めると同時に、国民の経済活動をサポートする金融機能の維持やお客様保護の観点から必要な金融業務の継続を図っております。

今般の職域接種の実施を通じて、当社の企業ビジョンである「お客様一人ひとりの“生きる”を支える」を体現し、生命保険会社としての社会的使命を果たすとともに、新型コロナウイルス感染症の早期収束に向けた対応により一層取り組んでまいります。

以上